

「りた」を下支えする陰の立役者

人々の暮らしがまちをつくり、そのまちの風景となる。市民の活動を景観という切り口で継承していきます（岡崎市発行市政だより /2013年11月1日号より転載）



●まち育てインターンの受入

愛知県、名古屋学院大学から研修生 11 名を対象に、23 日間のインターンプログラムを実施しました。「まちの学習機会」を提供し、受講者のまちづくりリテラシーを高めると同時に地域に役立つまちづくり実践の場を創出しました。また「りた」にとっては、受け入れ担当者が研修プログラムを組むことを通じて人材育成のマネジメントスキル向上の機会にもつながりました。

●市民活動に関する情報受発信の仕組み構築事業

「岡崎における市民活動情報の仕組みのあり方」について検討を重ね、本年度はそれを実現するプログラムを他の中間支援組織、システム提供者と共同で開発しました。長年の市民活動情報サイト運営経験から得られた利用者の声を反映し、他地域の中間支援組織のノウハウも盛り込み、りたの強みを活かした市民活動促進のためのマッチングツールが開発できました。

●りたスタッフ研修

今年度新たに入社したスタッフに対し、中間支援組織の一員としての業務に従事できるよう教育を実施。加えて、近隣他地域の NPO や市民活動センターの視察を行い、それを分析することにより、他の NPO に対しても適切なアドバイスができるよう教育しました。また、3ヶ月に1回、既存スタッフを対象とした「スタッフ交流会」を開催し、市民活動支援拠点の運営ノウハウの共有や改善に努めました。

●りた機関誌「りたらしい」の発行



個人の選択の結果ではなくプロセスや「なぜ？」に注目し、それを「生活芸述」という切り口で発信しました。

りた 2014 年度の展望

「りた」が活動する岡崎市は、人口こそ増えていますが生産人口（15 歳以上 65 歳未満）はすでに 5 年前から減少に転じ、少子高齢化が深刻になってきています。こうした社会構造の変化により、福祉、教育、雇用など、様々な問題が複雑に絡み合って進行するなか、地域課題を解決するには、行政、市民、事業者が手を取り合い一丸となって対応していかなばなりません。「りた」は、市民活動・地域活動を促進する中間支援者として、引き続き各事業を通じて、岡崎市内各地にどのようなニーズ（課題）があり、それに対応してどのような施策や取り組み、またその担い手（シーズ）があるのか（もしくはないのか）を今一度把握したうえで、市民・市民団体、行政、事業者がそれぞれの強みを生かして連携しながら地域のニーズとシーズを結び付けていく「社会の紐帯」づくりを 2014 年度も積極的に行っていきます。具体的な事業は次号にてご紹介します。お楽しみに。

改訂記念特集 ●

りた 2013年度の軌跡

2013 年度の「りた」の活動は主に中間支援を担う「市民活動支援チーム」と、まちづくりを担う「まち育て推進グループ」に分かれ、4つの事業方針（※後述）に基づいた事業をそれぞれ展開しました。

「市民活動支援チーム」は、市内 4 ヶ所の地域交流センター指定管理事業の中で地域の実情やニーズに応じたセンター独自のノウハウを相互に参照し、各事業の底上げと独自性に磨きをかけました。また、市民活動センターは市民活動支援のためのマッチングツールの開発および各地域への横展開や、各センターの相談窓口機能を高めるためのサポートなど、地域交流センターの中央機能を強化しました。

「まち育て推進グループ」では、あいちトリエンナーレ 2013 関連の事業を通じて、一人ひとりのまちを見る視点を深掘りしながら、まちの多様性と人の視点の多様性を表す「百人百景」や、まちの風景を言語化して交換することでその違いや面白さを浮かび上がらせる「言葉の地図」といった、景観をはじめ様々なまちづくりの啓発に活用できるまちの資源の発掘手法を習得し、2014 年度の全センター連携事業の足掛かりを作りました。また、これまでの藤川地区や松本町における景観まちづくり活動の実績が評価され、岡崎市では初の、愛知県内でも 2 番目の「景観整備機構」の指定を受けることとなりました。

CONTENTS

地域交流センター …… 2~5  
りぶら市民活動センター …… 6  
まち育て推進グループ …… 7  
事務局他 …… 8

りた 4つの事業方針



(1) 公益活動の場づくり

市民の私益・共益的活動など、個々の活動をまちの課題、社会的課題の解決などと結びつけて、公益活動につなげていく場・機会を提供し、やりがいと出番を創出する。



(2) ボランティアの受け皿づくり

「何かやりたい、始めたい」「役に立ちたい」という個人に対するボランティア活動の啓発と、市民活動・地域活動を促進するボランティアのマッチングを行う「ボランティアの受け皿づくり」を進める。



(3) 学校融合人づくり

人々の想いや活動を増幅し、地域の教育機関や専門性を有する団体、個人との協働を促進し、未来のまちづくりの担い手を育成する。



(4) 学区まちづくり

4つの地域交流センター（および市民活動センター）を軸として、地域の課題解決のための活動を支援しながら、地域の資源を活かして、個々の活動やアイデアをまち全体の取り組みにつなげ、学区を単位としてそれらを総動員する地域マネジメントの推進を目指す。

# 地域と創るセンター、地域を創るセンター

## なごみん 北部地域 交流センター

- 総来館者数 ..... 67,699 名
- ボランティア受入人数 ..... 984 名
- 市民活動相談件数 ..... 28 件



▲ 地域商店街のポスターを制作する子どもたち（なごみん横丁）

### 2013年度のなごみん（取り組みの一部）

#### ● なごみん横丁支援



子どもたちが自ら考え、創り出す5日間の仮想都市「なごみん横丁」。すっかりなごみん夏の風物詩になりましたが、今年はなごみん横丁から独立した市民活動団体「子ども☆横丁プロジェクト」を支援し、実現をサポートしました。

#### ● 岩津支所地域連携事業



岩津支所と連携し、地域ニーズのひとつである防災に関する講座を実施しました。座学だけでなく体験講座も取り入れ、各家庭での防災意識を高めることができました。

#### ● 市民ニーズ解決講座



なごみんの利用団体にニーズ調査を行い、その結果をふまえた講座を展開しました。2013年度は会員獲得のための「共感を生むコンセプトづくり」や「チラシによる発信力向上」をねらった講座を実施し、団体の課題解決につながりました。

#### ● ボランティアや地域に愛されるセンター

「花咲ボランティア」や「なごみん横丁」など、施設の空間演出や事業の実施に多くのボランティアが携わってくださり、ボランティアの従事時間や従事人数は他センターと比べても群を抜いています。

#### ● なごみん祭り



日頃なごみんを利用いただいている市民活動団体を中心に実行委員会を立ち上げ、企画段階から市民の声を取り入れたイベントになりました。会員が増えたなど、団体のPRに貢献しました。

#### ● 花咲ボランティア



なごみんの花壇は地域のボランティアの方に支えられています。なごみんはこの通称「花咲ボランティア」の方に、自宅の庭のようにガーデニングを楽しめる環境を提供し、お互いにとってよい関係を築いています。

#### ● 岩津ゼミ支援



岩津地域の商店街を振興する目的で開催されている店主によるゼミナール「岩津ゼミ」。なごみんも地域振興の趣旨に賛同し、広報・運営の支援を行うことで間接的に地域振興に貢献しました。

〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平 45 番地 1  
岡崎市北部地域交流センター 2 階  
TEL (0564)66-8251 FAX (0564)45-1521  
開館時間 午前9時から午後9時  
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

# まちづくりの専門性で、地域の主体的活動を育む

## まち育て 推進 グループ

### ■ 専門家派遣実績

（委員）岡崎市総合計画審議会、景観審議会、地域福祉計画推進委員会、SB/CB コンソーシアム、乙川リバーフロント部会、愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」ほか（講義）名古屋工業大学、愛知学泉大学、愛知産業大学、長浜まちづくり会社、アルバックほか



▲ 地元住民とボランティアスタッフ中心となって企画したフィナーレツアーが実現（あいちトリエンナーレ）

### 2013年度のまち育て推進グループ（取り組みの一部）

#### ● まちづくり協議会支援事業（松本町）



協議会の月例会の運営支援、地域活力拠点「松本なかみせ亭」の自立化支援、あいちトリエンナーレ 2013 後の出店希望者と空き家所有者とのマッチングを行い、まちづくり活動の定着化と松本町のまちなみの魅力発信に貢献しました。

#### ● まちづくり協議会支援事業（藤川）



米屋の活用方法を検討する米屋懇親会を重ね、12月から改修資金を募集し、市の助成金も活用しつつ約200万円に及ぶ改修工事を実施することができました。街道沿いには整備された本陣跡広場や紅屋カフェなどもでき、少しずつですがまちに活気が始まっています。

#### ● あいちトリエンナーレ 2013 まちなか拡充展開事業



会期中の2013年8月～11月、来訪者にまちの魅力を伝えるガイドツアーの企画、運営やガイドマップの作成を実施。これまでは成しえなかった地域住民同士のつながりの創出や、アートからほど遠いと思われる日常的な営みやまちなみそのものなど、まち全体の魅力を再発信することができました。

#### ● 地域ニーズの見える化事業（岡崎市北部地域）



岩津支所及び桑原町と協働し、町民自ら防災マップを考えるワークショップ、その様子を伝えるかわら版の発行、振り返りの「桑原町座談会」を実施。防災意識の向上につながったと同時に、防災に限らない町全体の課題の表面化や今後の町の動きを明確にすることができました。

#### ● 中心市街地空き店舗活用促進支援事業



出店者誘致のきっかけづくりとしてチャレンジショップの企画や空き店舗調査の実施を踏まえた空き店舗ツアーなどを通じて、出店希望者と空き店舗のコーディネートを行い、新規テナント候補者 2 件の誘致につながりました。

#### ● 東日本被災者支援事業



愛知に避難してきた被災者の受入れ支援を行う『愛知県被災者支援センター』の運営を、りた含む県内4NPOで担いました。本事業は愛知県でのケーススタディとしても位置付けられ、NPO間の連携体制構築や、県内全域のネットワークづくりにもつながっています。

## 市民活動、公益活動支援のスペシャリストを目指して

### りぶら 市民活動 センター

- 総利用者数 …… 16,380 名
- ボランティア紹介人数 …… 1,176 名
- 市民活動相談件数 …… 108 件



▲第3回岡崎まち育てフェスタの様子

## 世代間、地域間、団体間の対話と交流を促進

### よりなん 南部地域 交流センター

- 総来館者数 …… 107,398 名
- ボランティア受入人数 …… 178 名
- 市民活動相談件数 …… 11 件



▲市民活動団体と共に事業を創り上げた達成感を共有（よりなん感謝祭）

#### 2013年度のりぶら市民活動センター（取り組みの一部）

##### ●第3回岡崎まち育てフェスタ



公益活動団体と何かしてみたい市民のためのイベント「まちフェス」。3回目の今年は市民に向けてより具体的な協力要望のある団体にメッセージプレゼンテーションを行っていただきました。

##### ●まちびとバンク



ボランティアしたい人としてほしい人を橋渡しするボランティアマッチングシステムを地域交流センターと連携しながら運営。今年は近隣の高校、大学にも情報提供し、特にイベントボランティアは学生の参加増が目立ちました。

##### ●りぶらまつりへの協力



市民活動センターが事務局機能を担っている市民団体「りぶらサポータークラブ」が企画・運営する「りぶらまつり」に協力。イベントの中で市民活動団体の活動を市民に周知するプログラムをコーディネートしました。

##### ●公益活動報告書 書き方・考え方講座



岡崎市が市民活動団体に義務付けている「公益活動報告書」。この書き方をお伝えするだけでなく、自団体の活動を見直し、よりブラッシュアップできるようアドバイスを行いました。

##### ●NPO基礎講座開発



むらさきかんの市民ニーズ解決講座の枠組みで実施された「NPO基礎講座」のプログラムを開発しました。市民活動センターの専門性と、地域交流センターの地域との接点により、より満足度の高い講座が実現しました。

##### ●協働パートナーリストの作成・運用

協働意欲の高い市民活動団体のリストを独自に作成。地域交流センターとも連携し、協働パートナーを探したい、という相談があった場合に活用できる体制を全センターで整えました。

##### ●専門性を高める、活かす

5センターでより専門的かつ均質な市民活動支援メニューが提供できるよう、仕組みの構築・ブラッシュアップを行っています。また、外部研修に積極的に参加するなど、専門性を高める努力をしています。

〒444-0059 岡崎市康生通西四丁目 71 番地  
岡崎市図書館交流プラザ・Libra（りぶら）2F  
TEL (0564)23-3114 FAX (0564)23-3142  
開館時間：午前9時～午後9時  
休館日：毎週水曜日（祝日の場合は開館）

#### 2013年度のよりなん（取り組みの一部）

##### ●防災フェア



よりなんがある上地町内会5・6・8区と合同開催し、防災イベントを開催しました。体験（耐震相談・消火体験・ロープ結索・心肺蘇生体験など）、講演（岡崎市東消防署南分署）、展示（防災グッズ・震災写真など）を実施し、充実した内容になりました。

##### ●よりなん感謝祭



市民活動団体の日頃の活動成果発表の場を設け、ボランティア活動の機会を提供しました。また、出演団体とともに企画・運営することにより、市民活動団体によるイベント運営参画の機会を提供しました。

##### ●夏休み昔のあそび体験フェスタ



地域の方の協力を得ながら昔のあそびを通じて子どもたちと触れ合うイベントを実施しました。世代間交流を促進し、また多くのボランティアが活躍できる機会を創出しました。

##### ●老人クラブ交流会



上地学区の8クラブ間の交流を通じて「よりよい地域づくり」や「地域貢献」に向けて行動するためのきっかけづくりを行いました。

##### ●よりなんクリスマス



子育て支援団体（市民活動団体）の2団体とともに子ども・保護者対象のクリスマス会を実施しました。また、市民活動団体による「ミニコンサート」の開催や、一般来館者に作成してもらった「ぬり絵」作品の館内展示も行いました。

##### ●上地学区親子夏祭りへの参加



ボランティア作成の「かざぐるま」販売や「盆踊り講習会」、「浴衣着付け」の機会を提供し、地域のお祭りを支援しました。ボランティアの活動機会の提供と、地元支援が両立できました。

##### ●子どもからお年寄りまで幅広い利用層

4センター中で最多の稼働率、来場者数を誇るよりなん。利用者の層も子どもや子育て世代のママ、お年寄り幅広く、周辺の町内会や老人会との連携にも力をいれています。

〒444-0823  
岡崎市上地二丁目 39-1  
TEL (0564)59-3600 FAX (0564)54-3700  
開館時間 午前9時から午後9時  
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

## 地域の文化伝承・課題解決を支援し、自治意識を育む

### やはぎかん

西部地域  
交流センター

- 総来館者数 …… 85,286 名
- ボランティア受入人数 …… 42 名
- 市民活動相談件数 …… 16 件



▲ まちの代表としての国王を選出（やはぎマーブルタウン）

## 地域資源を活かし、地域とともに歩むまちづくり

### むらさきかん

東部地域  
交流センター

- 総来館者数 …… 94,026 名
- ボランティア受入人数 …… 42 名
- 市民活動相談件数 …… 24 件



▲ 地域の新たな拠点として市民の活動を周知する場を提供（むらさきかんフェスタ）

#### 2013年度のやはぎかん（取り組みの一部）

##### ● やはぎ防災講座



防災をテーマに活動する 2 団体と協働し、岡崎市内の中でも最大の想定震度と被害が予想されている矢作地域の特性を基調講演と体験学習により学ぶことで、防災意識の向上を図りました。

##### ● 6 周年春まつり



市民活動団体と地域との交流を深め、活動の幅を広げるための成果発表を行いました。実行委員会を組織し、一体感の中でイベントを企画・運営することで、市民主体の施設運営にもつながりました。

##### ● 花のとう協賛イベント



400 年続く矢作の伝統祭事「花のとう」に協賛し、「花のとう」の歴史を紹介するかわら版の作成・配布、かつて風物詩だった花の苗販売の復興などを行うことで、まつりの伝統継承や地域性の協調に寄与しました。

##### ● やはぎマーブルタウン



市民活動団体との協働により、遊びを通してまちづくりを体験学習する「子どものまち」を実施しました。団体に活躍の場を提供することができました。

##### ● 西部地域活動報告交流会



矢作地域で「子ども」をテーマに活動する団体に参加いただき、各団体の活動報告と、パネルディスカッションを通じた問題意識の共有と交流を図りました。

##### ● 情報誌「やはぎかん」発行



矢作 5 学区の地域情報や市民活動団体の情報を発信する情報誌を発行しました。紙面で取り上げたことによる市民活動団体と地域の方のマッチングもありました。

##### ● 地域と一緒に安心・安全なまちを目指す

これまで以上に地域情報の収集・整理を行いました。加えて、矢作地域の震災・水害リスクが高いことから地域内での防災意識が高まっており、定期的な防災啓発事業の実施に踏み出しました。

〒444-0943  
岡崎市矢作町字尊所 4 5 番地 1  
TEL (0564)33-3665 FAX (0564)32-7771  
開館時間 午前 9 時から午後 9 時  
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

#### 2013年度のむらさきかん（取り組みの一部）

##### ● むらさき麦まつり



地元の藤川まちづくり協議会や道の駅藤川宿、愛産大、藤川小らと連携し、地域の特産品・むらさき麦を活用したまちおこしの支援と、旧東海道の宿場町である藤川宿の魅力を知ってもらう機会となりました。

##### ● むらさきかんフェスタ



主にむらさきかんで活動している市民活動団体の活動発表を中心に、舞台発表・展示・バザーなどを行いました。市民活動団体と市民をつなぎ、市民活動に関する多くの気づきと広報機会を得られる場を創出しました。

##### ● 地域活動報告交流会



行政や社協、そして主に岡崎市東部地域で活躍している福祉関係の市民活動団体をお招きし、それぞれの活動報告と交流会を開催しました。東部地域は福祉施設が多く、これからの地域福祉を考える機会となりました。

##### ● 市民ニーズ解決講座



市民活動の発展形として、「NPO 基礎講座」を開催しました。NPO とは？ NPO 法人とは？という基礎内容を通じて、市民の公益活動に対する啓発と具体的な方法の提示を行いました。

##### ● 学び合い交流会



主に地元の地域学習を行っている、藤川小学校 6 年生の総合学習と東海中学校自然科学部、そして愛産大建築同好会という世代を超えた学校が一堂に会して互いに活動発表を行い、地元や学校間との交流機会を設けました。

##### ● 藤川支援事業



まち育て推進グループと連携し、地元藤川のまちづくり支援をしました。まちの拠点・米屋の整備や案内人の育成支援、小箱ショップ運営支援などを行い、米屋を起点としたまちづくりに貢献しました。

##### ● 地域性を活かした事業展開・情報発信

開館から順調に利用者数・稼働率も増え、藤川地区のまちづくり支援、地域福祉に関する様々な主体・機関の横つなぎや、全センター中最も広い範囲をカバーした情報の受発信など、地域性を反映した事業を展開しました。

〒444-3523  
岡崎市藤川町字田中 19 番地  
電話 (0564) 66-3066 FAX (0564) 48-1680  
開館時間 午前 9 時から午後 9 時  
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）